中2 歴史 近世 一問一答（20問）　版Dの答え

※ 漢字でもひらがなでも正解です。答えの下の（　）内の言い方でも正解です。

問いの答えを、右の欄に書きましょう。

(1) 16世紀後半から、ポルトガル人やスペイン人と行われた貿易を何というか	南蛮貿易
(2) 1575年に、織田・徳川の連合軍が鉄砲を有効に使って武田勝頼の軍を破った戦いを何というか	長篠の戦い （長篠・設楽原の戦い でも正解）
(3) 16世紀にルターらが、免罪符を売るカトリック教会を批判して始めた運動を何というか	宗教改革
(4) アフリカ南端の喜望峰を回って、1498年にインドに着いたポルトガルの航海者はだれか	バスコ・ダ・ガマ （ヴァスコ・ダ・ガマ・バスコ＝ダ＝ガマ でも正解）
(5) 豊臣秀吉が、一揆を防ぐために百姓から刀や鉄砲などの武器を取り上げた政策を何というか	刀狩 （刀狩令 でも正解）
(6) 江戸時代に、朝鮮との外交や貿易の仲立ちをした藩を何というか	対馬藩 （宗氏 でも正解）
(7) 江戸時代の大名のうち、徳川家の一族の大名を何というか	親藩
(8) 徳川家康が征夷大将軍となり、江戸幕府を開いたのは西暦何年か	1603年
(9) 島原・天草一揆が起きたのは西暦何年か	1637年
(10) 江戸幕府が、年貢の納入や犯罪の防止に連帯で責任を負わせるため、百姓や町人を5戸ずつまとめたしくみを何というか	五人組
(11) 1837年に、ききんで苦しむ人々を救うため、大坂で乱を起こした元幕府の役人はだれか	大塩平八郎
(12) 働き手を作業場に集めて、分業で製品をつくる生産のしかたを何というか	工場制手工業 （マニュファクチュア でも正解）
(13) 8代将軍が、民衆の意見を聞くために江戸の評定所の前に置いた箱を何というか	目安箱
(14) 19世紀半ばに天保の改革を行い、商人の同業者組合を解散させた老中はだれか	水野忠邦
(15) 1825年に江戸幕府が出した、日本の沿岸に近づく外国船を打ち払うよう命じた法令を何というか	異国船打払令 （外国船打払令・無二念打払令 でも正解）
(16) 俳諧を芸術の域に高め、『奥の細道』を書いた人物はだれか	松尾芭蕉
(17) 江戸時代に、町人や百姓の子どもが読み・書き・そろばんを学んだところを何というか	寺子屋
(18) 17世紀末から18世紀初めに、京都や大阪の町人を中心に栄えた文化を何というか	元禄文化
(19) 杉田玄白や前野良沢らが、オランダ語の解剖書をほん訳して出版した本を何というか	解体新書
(20) 『古事記伝』を書いて国学を大成した人物はだれか	本居宣長